



©LEVANGA HOKKAIDO

今月の主な内容

- 湧別町功労者表彰
- 湧別町の水産物の状況
- レバンガ北海道と包括連携協定締結

今月の表紙

5季ぶりにレバンガ北海道に復帰
関野剛平選手が北海道を盛り上げる

令和5年度湧別町功労者表彰式典



町の振興・発展に貢献された方々のご功績をたたえて

令和5年度 湧別町功労者表彰

令和5年度の「湧別町功労者表彰式典」が、11月3日（金）文化の日に文化センターTOMで挙行されました。

町功労者表彰は、「湧別町表彰条例」に基づき、各分野において町政の振興発展に尽くされた方や、町民の模範となる善行のあった方、町の名誉を高められた方々などに対し、毎年11月3日の文化の日とその功績をたたえ表彰を行っているものです。

今年度は、個人14人と9団体が表彰され、刈田町長から受章者一人ひとりに表彰状と褒章、記念品が贈られ、永年にわたる功労をたたえました。



功労表彰

自治功労

島田 宗央さん（56歳・芭露）

平成23年7月から12年の永きにわたり、農業委員会委員として農業生産力の向上や農業経営の合理化に積極的に関わり、農業の振興に貢献されています。

栗田 淳さん（48歳・志撫子）

平成23年7月から12年の永きにわたり、農業委員会委員として農業生産力の向上や農業経営の合理化に積極的に関わり、農業の振興に貢献されました。

工藤 健さん（52歳・登栄床）

平成17年5月から18年の永きにわたり、国際交流推進委員会委員として国内外との友好交流活動に貢献されています。



消防功労

平野 寿雄さん（55歳・上湧別町中街地）

平成2年9月から33年の永きにわたり、消防団員として消防活動に尽力し、町民の民生安定に貢献されています。

牧野 浩二さん（52歳・開盛）

平成4年1月から31年の永きにわたり、消防団員として消防活動に尽力し、町民の民生安定に貢献されています。

教育文化功労

アリソン・ロザノフスキーさん

(77歳・ニュージールランド・セルウィン町)
ニュージールランド・セルウィン町との友好都市交流事業の企画やホストファミリーとして多くの町民を受け入れるなど、友好都市提携の発展と国際教育の推進に貢献されています。

故ダグ・ヒュンソンさん、エイビス・ヒュンソンさん

(82歳・ニュージールランド・セルウィン町)
友好都市交流事業において、永きにわたりホストファミリーとして多くの町民を受け入れ、地域での日常生活や住民との交流体験を通して、友好交流の発展と国際教育の推進に貢献されました。

社会功労

西川 仁史さん(83歳・中湧別南町)

昭和59年4月から34年の永きにわたり上湧別町社会福祉協議会理事および副会長ならびに湧別町社会福祉協議会副会長として、さらに平成30年6月から5年間、湧別町社会福祉協議会会長として同協議会の円滑な運営と社会福祉の増進に貢献されました。



善行表彰

湧別漁業協同組合

代表理事組合長 **阿部 俊彦さん**
水産振興として多額の金品を寄付され、水産業の振興発展に寄与されました。

沢口産業 株式会社

代表取締役 **吉田 昌子さん**
子育て支援として多額の金品を寄付され、児童福祉の増進に寄与されました。



株式会社 中川組

代表取締役 **森 光弘さん**
子育て支援として多額の金品を寄付され、児童福祉の増進に寄与されました。

遠軽信用金庫

理事長 **島田 光隆さん**
公金収納事務DX化のため多額の金品を寄付され、庁内業務のDX化と効率化の推進に寄与されました。

ホクレン農業協同組合連合会

代表理事会長 **篠原 末治さん**
湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業支援のため多額の金品を寄付され、地方創生の推進に寄与されました。

株式会社 渡辺組

代表取締役 **渡辺 勇喜さん**
湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業支援のため多額の金品を寄付され、地方創生の推進に寄与されました。

株式会社 サードウェーブ

代表取締役社長 **尾崎 健介さん**
湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業支援のため多額の金品を寄付され、地方創生の推進に寄与されました。

遠軽電機 株式会社

代表取締役社長 **乾 淳さん**
湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業支援のため多額の金品を寄付され、地方創生の推進に寄与されました。

奨励表彰

伊藤 英二さん(73歳・錦町)

平成23年4月から12年の永きにわたり、交通安全指導員として交通事故防止のため社会奉仕の精神をもって交通安全の実践に尽力されています。

高松 初男さん(72歳・上湧別田中街地)

平成23年4月から12年の永きにわたり、交通安全指導員として交通事故防止のため社会奉仕の精神をもって交通安全の実践に尽力されています。

城岡 隆浩さん(63歳・富美)

平成23年4月から12年の永きにわたり、交通安全指導員として交通事故防止のため社会奉仕の精神をもって交通安全の実践に尽力されています。

佐々木 雅朗さん(47歳・中湧別南町)

平成13年4月から22年の永きにわたり、消防団員として消防活動に尽力し、町民の民生安定に貢献されています。



齋藤 瑠来さん(15歳・東)

第50回全日本中学校陸上競技選手権大会の男子1500mに入賞されるなど、スポーツ振興に寄与されました。



開盛寿クラブ

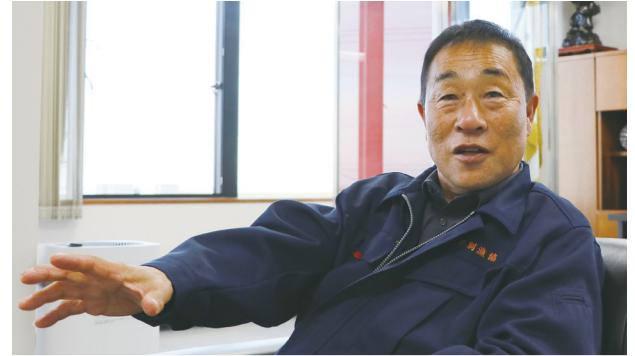
コロナ禍で活動制限を受ける中においても、クラブ活動と会員増強に取り組み、明るく元気な高齢化社会実現のため尽力されました。

実際はどうなの？

教えて湧別町の 水産物の状況

東京電力福島第1原発のALPS処理水放水を受け、中国は原産地を日本とする水産物の輸入を全面的に停止しました。湧別町のホタテ貝の多くを中国に輸出していたことから、湧別町の現状と今後の見込みについてお話を伺いました。

漁業のプロに聞いた 「湧別町の現状と今後の見込み」



湧別漁業協同組合 代表理事組合長 阿部俊彦さん

Q. 中国への輸出ができないと湧別の漁業にはどれくらいの影響があるのですか？

A. 湧別漁協のホタテ貝の仕向先としては、生鮮販売78.1%、玉冷製品原料11.5%、乾貝柱製品原料10.4%であり、ALPS処理水放水後は中国へ加工原料の冷凍ホタテ貝「両貝冷凍品」や玉冷製品を輸出していた業者から、生鮮ホタテ貝の注文のキャンセルがありました。一日あたり最大で60トン。現在でも20トン～30トン前後の注文が回復していません。

Q. 中国に輸出できないと、湧別のホタテ漁はどうなっているのですか？

A. 今年操業している漁場に対して、来年5月には4年後に漁獲するためにホタテ稚貝を放流します。放流後のホタテ貝の成長促進のためには、獲り残しを少なくする必要がありますので、中国禁輸の影響でホタテ貝が売れなくても、漁獲する必要があるのです。

Q. 中国以外のところに輸出できないのですか？

A. 品質・味などオホーツクのホタテは中国で高く評価されていて、高額で取引できていましたので、膨大なホタテ貝を同じ金額で販売できる取引先を国外・国内問わず探すのは難しい状況です。この機会に日本の皆さんに湧別のホタテを味わっていただこうと、多方面でPR活動を行っています。

Q. 私たちにできることがありますか？

A. レバンガ北海道の試合で、来場者に「ソフト貝柱」を配付し湧別町産ホタテのPRを行いました。とても喜んでいただき、ホタテの人気の高さを改めて感じました。顔の見える皆さんに食べてもらうのが漁師の一番の喜びです。湧別のホタテは品質・味ともに高い評価を得ています。食卓に一品ホタテ料理を加えていただいたり、この機会に贈答品として家族や友人・知人に送っていただくなど、消費拡大をお願いしたいです。

～みんなで応援しよう～

町が行うホタテなどの水産物の消費拡大に向けた取り組み

● **宿泊施設・イベントでの水産物PR**

宿泊施設やイベント会場などで加工品の提供・販売を実施し、水産物をPR

● **給食用ホタテ購入・提供**

町内小中学校・高齢者施設、新篠津村・遠軽町小中学校に給食用ホタテを提供し、消費拡大を促進

● **どさんこプラザで販売促進**

通常時よりお得に購入できるキャンペーンを実施し水産物をPR

● **レバンガ北海道と包括連携協定締結**

レバンガ北海道と消費拡大に向け水産物のPRなど包括連携協定を締結（詳細は次ページ）

包括連携協定で協力・連携

10月14日（土）、本町出身のプロバスケットボール選手 関野剛平さんが所属する「レバンガ北海道」と包括連携協定を結びました。

調印式には、折茂武彦社長と関野剛平選手が同席し、地域の活性化、教育およびスポーツ振興などの5項目において協定を結びました。

レバンガ北海道が自治体との包括連携協定を結ぶのは、北海道・札幌市などに続き13番目で、オホーツク管内の自治体では初めてです。

連携項目

- ①地域の活性化に関する事項
- ②学校教育および社会教育に関する事項
- ③スポーツ振興・健康づくりの推進に関する事項
- ④魅力発信・イメージアップに関する事項
- ⑤その他、双方が必要と認める事項

札幌市 北海きたえーる



左から：関野剛平選手、折茂武彦社長、刈田町長、阿部組合長

今後のまちづくり、企業のイメージアップなど、湧別町とレバンガ北海道はパートナーとして、いろいろな場面で、協力・連携していきます。

湧別町産ホタテ消費拡大・ふるさと納税をPR

10月14日（土）、4千人を超える方が観戦に訪れたレバンガ北海道と名古屋ダイヤモンドドルフィンズの試合の来場者に「ソフト貝柱」を配布し、湧別町産ホタテの消費拡大と、ふるさと納税への協力をお願いしました。

ソフト貝柱を受け取った方からは「ホタテが大好きなのでうれしい」、「地元が湧別町に近いので応援しています」といった声が聞こえました。

試合は、大接戦の末、残念ながらレバンガ北海道が95対100で敗れてしまいましたが、試合終了後のセレモニーでは、関野選手立ち会いのもと、刈田町長から観客に対して本町のPRと、水産物の消費拡大、ふるさと納税への協力をお願いしました。

今回の包括連携協定の締結を契機に、ホームゲームでの特産品の販売や観光情報の発信、選手の学校訪問や児童・生徒、教員への技術指導など、本町とレバンガ北海道はパートナーとして協力・連携していきます。

先着2千人に「ソフト貝柱」を配布



湧別町産ホタテの消費拡大、ふるさと納税への協力をお願い



登栄床出身の関野剛平選手（29歳）が5季ぶりにレバンガ北海道に復帰

ポジション：SG/SF、身長・体重：183cm 80kg



- 2017.2 特別指定選手としてレバンガ北海道に加入
- 2017 - 19 レバンガ北海道
- 2019 - 23 サンロッカーズ渋谷
- 2023 - レバンガ北海道

自身初の主将としてチームを牽引する関野選手は、この試合も、激しいディフェンスで相手の攻撃の芽を摘み、3Pシュートでチームに勢いをもたらしました。



©LEVANGA HOKKAIDO

町長への 手紙



広報ゆうべつ 8月号で募集しました「町長への手紙（第11弾）」にお寄せいただいた23通のお手紙と4通のメールの中から一部をご紹介します。（紙面の都合上、お手紙の内容と回答は概要を掲載しています。）
お寄せいただいたご意見・ご提案を参考にさせていただきます、住みよいまちづくりを進めてまいります。

貴重なご意見・ご提案をいただきありがとうございました

町民の皆さまが気軽に町政に参加できる制度として、平成26年から町長の手紙を受け付けています。



高齢者バス無料券などの 使用期限延長

高齢者バス無料券、ハイヤー乗車料金助成券をいただいでいますが、3カ月期限で足りなかつたり余つたりして処分してしまふ事もあります。これを1年期限にはしていただけないものでしょうか。

答 バス無料券、ハイヤー乗車助成券ともに、1年間を通して使用していただけるよう、3カ月当たりの使用上限を設け交付しております。

高齢者の福祉向上を目的とした制度でありますことから、次年度に向けて、利用者の利便性向上のため、1年間を通して使用できるよう制度を見直していきたいと考えております。



道銀跡地の有効活用

道銀跡地は中湧別地区商店街の中心地でもあり跡地の有効活用の意味からも商工会が入るには最適な場所だと考えます。

答 北海道銀行中湧別支店についてはご承知のとおり本年3月31日をもって北見支店に移転されました。その際に同行から「移転後の空き店舗については競売にかけるとお考えにしております」との説明を受けましたので、「中心市街地に見合った店舗活用をお願いしたい」とお伝えしております。

現時点では同行の所有物であるため、町から意見を言える状況にはありません。

今後同行から町に対して具体的な相談があれば、商工会関係者などいろいろな人たちと協議しながら、最良の活用方法を検討します。



中古住宅物件が少ない

住んでいないであろう家はいっぱいあるのに購入できる家がありません。

答 町では売買などをするために必要な空き家の相続登記費用や住宅内外の片付け費用の補助、空き家を手放したい方と住宅を探している方のマッチング、宅建事業者との空き家を流通させる取り組みなどを行っています。また、住宅を探している方や空き家のニーズを見える化する仕組みの検

討を進めるなど、「空き家」が「住宅」に生まれ変わるための取り組みを進めています。が、売却や賃貸など最終的な判断は、所有者の方にゆだねることになります。

町としては新たな仕組みを考えていくことに加え、所有者の方に直接働きかける取り組みや、空き家になる前の段階からの啓発に力を入れて、これまで動きづらかった空き家の流通を促したいと考えています。まずは、民間事業者や住民の方に協力をいただきながら空き家相談窓口の周知や活用できる空き家の把握を積極的に進めたいと考えています。



レバンガ北海道の応援

現在プロバスケットチーム「レバンガ北海道」に所属する湧別町出身の関野剛平選手がキャプテンになりましたが、残念ながら知っている町民も多くはないと思います。これを機にレバンガ北海道の広報活動の一つである応援自動販売機を公共施設に設置しては。

答 関野選手が所属するレバンガ北海道と本町は、10月14日に地域の活性化、学校教育や社

会教育、スポーツ振興、町および企業の魅力発信などの5項目に渡る連携協定を結びましたので、本町のまちづくり、レバンガ北海道の運営に双方が協力していきたいと考えています。

例えば、ホームゲームで本町の特産品を販売したり、選手による技術指導を受けたり、広報紙への応援メッセージを掲載するほか、提案された町の公共施設に自動販売機を設置してチームを支えるなど、双方が連携可能なことから町としても取り組んでいきたいと考えています。

※回答時点の状況で、現在は変わっている可能性があります。

専用封書（料金受取人払郵便）での受け付けは終了しましたが、町ホームページなどでは随時受け付けていますので、今後も町民皆さまからのご意見・ご提案をお待ちしております。

◆お問い合わせ先
総務課広報・自治会グループ
TEL 2 - 2112

町ホームページ



質の高い
信頼される行政の実現へ
令和5年度行政評価の結果

行政評価の取り組み

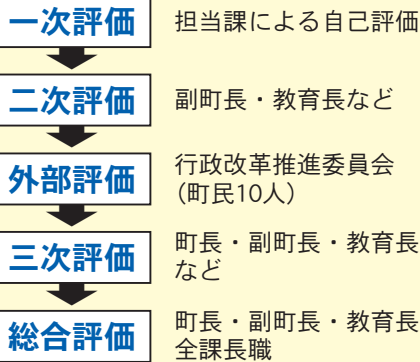
町では、効率的な行財政の運営を目指すため、行政評価を行っています。

行政評価とは、「計画」「執行」「点検・評価」「改善」のサイクルを指しており、事務事業の必要性や有効性などの視点から点検・評価を行い、その結果を次の事務事業の実施に反映させます。

行政評価の方法

行政評価は次の順序・評価者によって行われ、事務事業の今後の方向性について判定します。

行政評価の順序・評価者



行政評価の結果

本年度の行政評価は、125の事務事業を対象に評価し、総合評価で「拡充」、「改善」の評価を受けた、または意見が付された事務事業については、来年度の事業実施に向けて、改善策の検討と取り組みを進めます。

総合評価で「拡充」、「改善」の評価を受けた事業

判定区分	事務事業の名称
拡充 ※1	災害用備蓄食糧整備事業 地域おこし協力隊事業 ヘルメット購入補助事業
改善 ※2	一般廃棄物収集事業 資源ごみリサイクル事業 ふるさと納税推進事業 観光協会補助事業 敬老会開催事業 寝たきり老人等介護手当支給事業 中高一貫教育推進事業 スポーツ・文化合宿誘致事業 スポーツ・文化遠征費補助事業

※1 事業費の規模を拡大・充実させることが適当と判断される事務事業

※2 対象や手段、経費などの見直しにより、成果が向上すると判断される事務事業

外部評価について

外部評価は、10人の行政改革推進委員によって、行政職員とは違った角度から確認・評価を行い、必要に応じて委員会としての意見を付しています。

外部評価での事務事業に対する主な意見

事務事業の名称	判定区分	意見の内容
起業支援事業	終結	時限立法により5年間（令和5年度）で事業が終結となるが、引き続き必要な事業と考えられるため、事業の継続を検討いただきたい。
結婚新生活支援事業	現状維持	婚姻する町民の経済的負担の軽減がされており、効果的な事業ではあるが、関係課や産業団体と連携しながら、産業界を超えた出会いの場や交流の場を設けるといったような事業も検討いただきたい。

行政評価の内容については、役場庁舎および図書館で閲覧することができま。なお、外部評価の内容は、町ホームページでも公開しています。

【お問い合わせ先】

企画財政課企画グループ
TEL 2・5862

町ホームページ



広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います

株式会社

えんがる葬祭

☎ 0158-42-9898

遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933



24時間
受付

- 式場収容数
- ・大ホール400名
- ・中ホール200名
- ・小ホール100名
- ・法事ホール